

雨が降ればしょっちゅう警報級、異常に強い台風、長引くコロナ禍、急激な物価上昇、不安な世の中ですが、皆様のおかげで「フードバンクしばた」は元気です。遅くなりましたが、便り16号をお届けします。

● 総会3年ぶりに開催

6月14日午後2時から新発田市ボランティアセンターで、3年ぶりにようやく総会を開催しました。昨年度の事業結果、決算、そして今年度の事業計画、予算いずれも承認いただきました。総会では、はじめての当会を紹介するパワーポイントを披露しました。今後、これを使って講演したいと思っております。

できるだけ多くの人に私共の活動や貧困の状況などを知っていただきたいと思っており、気軽に声をかけてください。喜んでお話をまいます。少人数でも構いません。

● 長引くコロナ禍、急激な物価高が生活を直撃

貯蓄もなく、ぎりぎりの生活をしている人が多数おられることは何度もお知らせしてまいりました。そういう皆さんに、長引くコロナ禍での収入減、急激な物価上昇が生活を直撃し、県内どこのフードバンクにも支援を求めてくる人が増えつつあります。

しかし、あまり切迫感伝わってこない。あまり困っている様子はありません。そこで親しい支援している何人かの人に聞くと、やはりかなり深刻なのです。切ない状況に追い詰められても声を上げない。日本人は、静かにジーンと耐えているんです。

● 訪問型病児保育がベスト育児制度賞を受賞

どこでどのように決まったのかわかりませんが、この度、大阪にある「一般社団法人日本子育て制度機構」のベスト育児制度賞を受賞しました。「施設型病児保育では、あまりニーズに応えられなく、費用もかかることから、敬遠する人が少なくない。ニーズを明確にとらえられている点が高く評価された」とのことでした。

スタートしてまだ1年ですが、全国で例がない取り組みで、こんなにも早く受賞することができたのは望外の喜びでした。

子供が病気になっても、お母さんが職場を休む必要が無い病児保育を構想するのは、さして難しくはありません。しかし、実際に構想を実現すると非常に難しい。「フードバンクしばた」でこれがかできたのは、貢献意欲の実に高いすばらしい保育士、看護師、嘱託医などの多くのボランティアスタッフに恵まれていること、これにつきます。ただ、フードバンクしばたの事業活動を支えてくださる多くのサポーター（寄付して支えてくださる全ての方）の皆様の協力なくしてはあり得ません。

本当にありがたいことです。日々、感謝感謝の毎日を過ごしております。



● 子どもの成長に欠かせない多くの体験を実施

子どもの成長にいろいろな体験が必要であると専門家は指摘しています。学校でいろいろな学ぶことと同じくらい、あるいはそれ以上に重要です。しかし、貧困世帯、とりわけ母子家庭では、体験が少ない傾向にあります。そこで、支援している世帯の子どもに夏休み期間中にいろいろな体験してもらおうと、「お寺で座禅の集い」、「粟島キャンプ」、「古民家で合宿」を計画、どれも非常に好評で、子どもたちの喜ぶ顔と歓声に、スタッフも幸せな気持ちになりました。また、曹洞宗の若手のご住職の皆様、そしてスタッフの献身的な姿に心打たれました。実にありがたい思いでした。



お寺で座禅の集い



粟島キャンプ①



粟島キャンプ②



古民家で合宿①



古民家で合宿②

● ご寄付のお願い

「フードバンクしばた」の活動は、皆様のご支援で成り立っております。既に多くの皆様から今年度の寄付金や会費の他いろいろなご支援をいただいているのに誠に恐縮に存じますが、まだ会費や寄付金を納入いただておられない場合、よろしければぜひご支援いただきたくお願い申し上げます。

また、食品、生活用品が常に不足している状況にあります。特にお米が不足しております。ぜひ、ご提供いただきたくお願い申し上げます。

フードバンクしばた

〒957-0054 新発田市本町3-3-3

TEL：0254-20-8666 / FAX：0254-28-7666

携帯：090-3047-8732（土田）

URL：<https://foodbank-shibata.org/>

